

実施団体

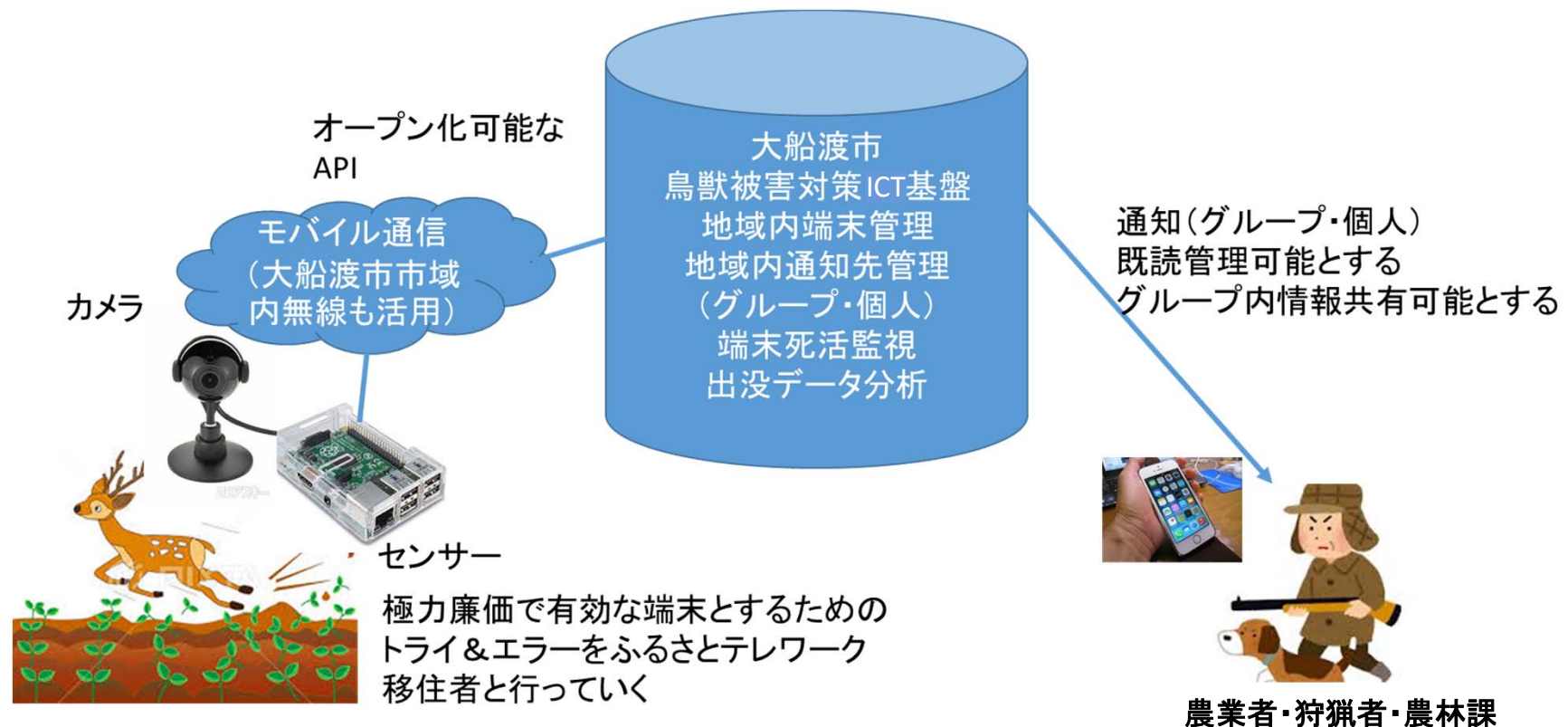
岩手県大船渡市

実施地域

岩手県大船渡市

事業概要

センサーネットワークによる鳥獣被害対策の成果事例（長野県塩尻市）を活用して、センシング技術、ネットワーク技術、動画中継技術などを活用した威嚇、通知による捕獲・有害駆除支援を行う地域ICT基盤を構築することで、農業者や狩猟者等の捕獲や有害駆除の省力化を図る。



クラウドを活用した有害鳥獣捕獲ワナ監視通報システム

実施団体

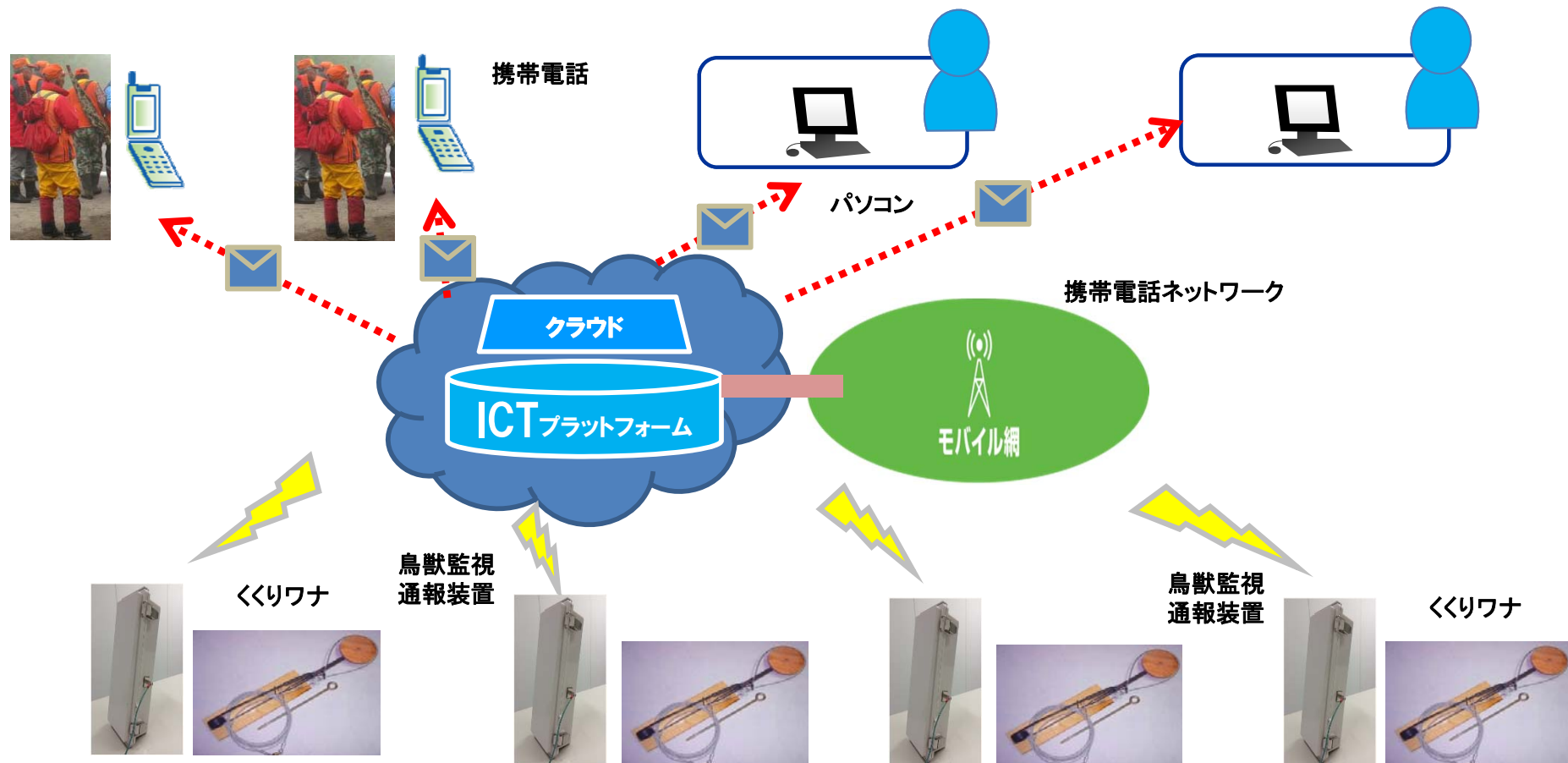
香川県土庄町

実施地域

香川県土庄町

事業概要

センサーネットワークによる鳥獣被害対策の成果事例（長野県塩尻市）を活用して、既存のクラウド及び携帯電話ネットワークを利用し、有害鳥獣の捕獲を効率的に進めることにより、農地を守り、農作物への被害を減らし、農業振興を図る。



広域鳥獣クラウド・プロジェクト推進事業

実施団体

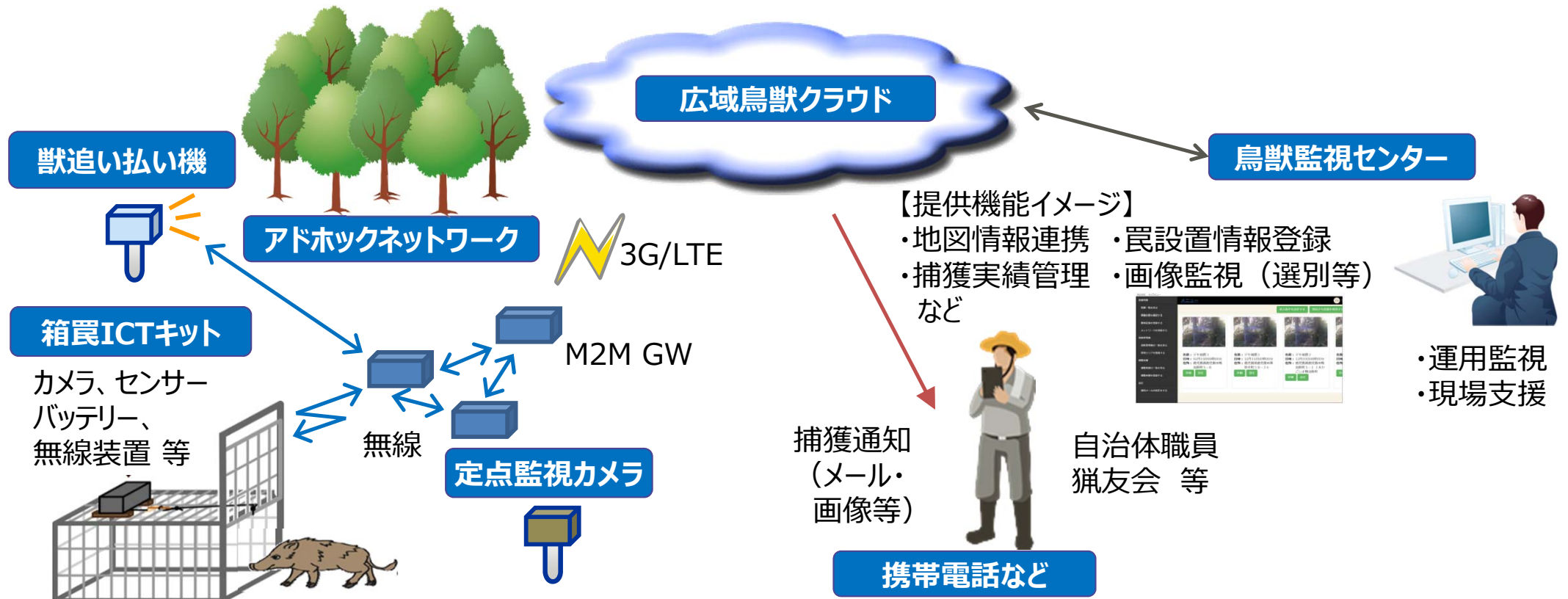
佐賀県佐賀市

実施地域

佐賀県佐賀市

事業概要

センサーネットワークによる鳥獣被害対策の成果事例（長野県塩尻市）を活用して、センサーネットワークや自治体が共有して利用できるクラウド、ICTを活用したイノシシ捕獲時の通知や追い払いなど捕獲の効率化のためのシステムを活用し、継続性のある事業モデルの確立を目指す。



獣害から獣財プロジェクト～イノシシ・シカで島おこし～

実施団体

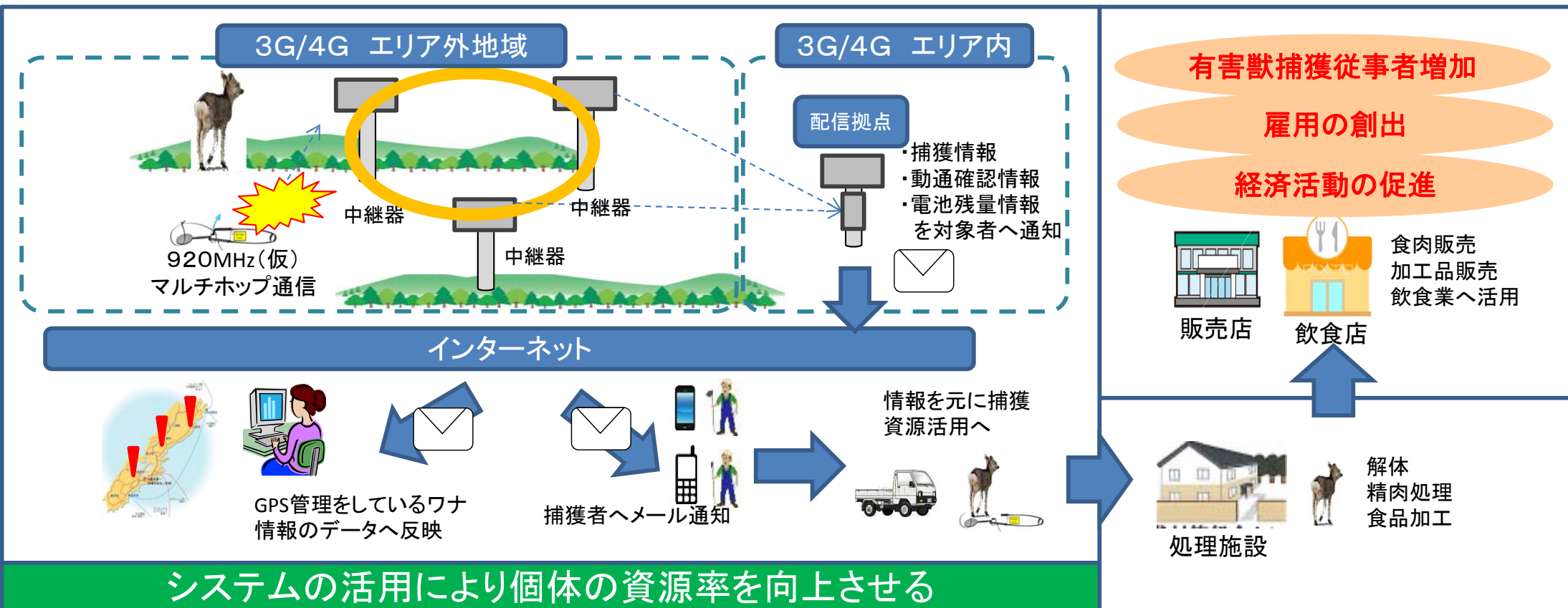
長崎県対馬市

実施地域

長崎県対馬市

事業概要

センサーネットワークによる鳥獣被害対策の成果事例（長野県塩尻市）を活用して、有害鳥獣の効率的な捕獲を実現するためのシステムを導入し、そのシステムを活用することで個体の資源化率を向上させる。また資源化を実施することにより、地域の活性化まで見越した取組を実現する。



森林ICTプラットフォームを活用した地域活性化事業

実施団体

愛媛県西予市

実施地域

愛媛県西予市

事業概要

クラウドを活用した森林資源の情報共有の成果事例(岡山県真庭市)を活用して、森林資源情報の把握や情報共有を進め、林業・農業分野における地域の活性化・産業のブランド化に寄与していく。

<真庭モデル普及展開のこれまでの取組>

【真庭モデルの形成】

- ✓地域活性化に高い効果を有する真庭モデルを形成し、中国地方(岡山県北部3市町村)を対象に普及展開中。導入効果があることを確認済。
- ✓林野庁のICT事業と連携し、林野庁が策定した森林クラウド標準をすでに実装。森林行政に即したデータ整備が可能であることを実証済み。

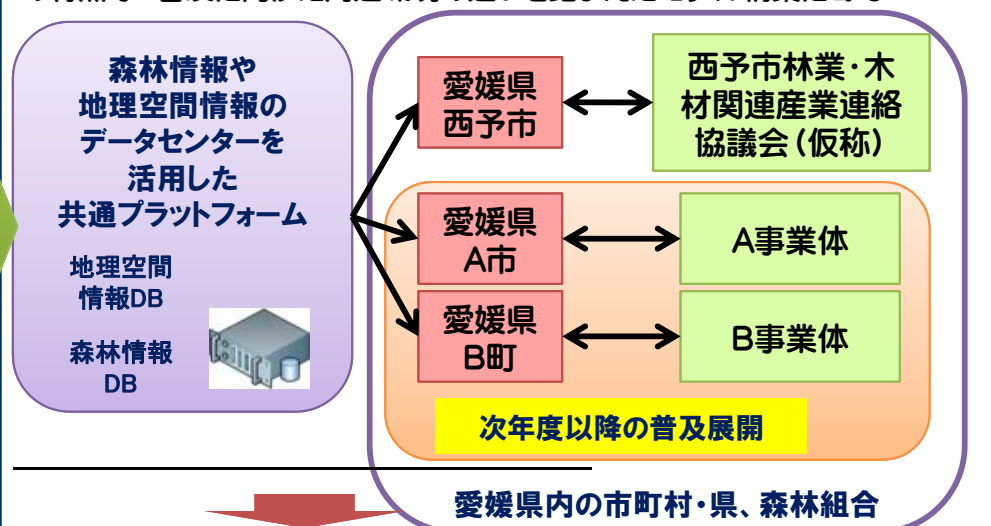
全体イメージ



<全国へ更なる展開>

【真庭モデルに基づく森林ICTプラットフォームの全国展開サービスの普遍化】

- ✓岡山県北部地域から全国4町への普及に資するモデルであることを確認済。
- ✓四国地域の森林構成の違い、サプライチェーンも含めたICT導入、地籍情報の有無等、普及に向けた周辺環境の違いを踏まえたモデル構築に寄与。

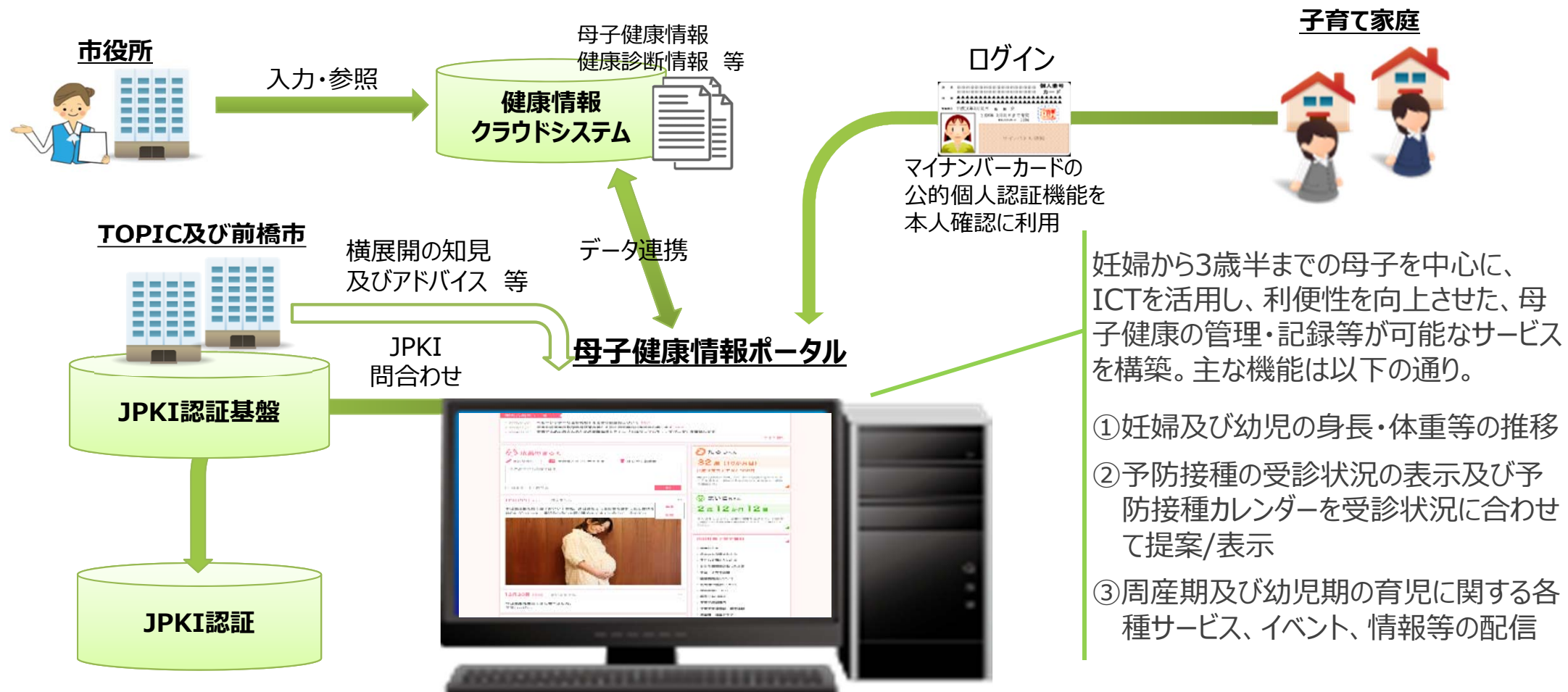


【地域の活性化、雇用機会の創出】

- ✓森林情報の共有化・統括に伴い、地域活性化・産業ブランド化に取り組む。

ICTを活用した母子健康支援プロジェクト

実施団体	福島県会津若松市
実施地域	福島県会津若松市
事業概要	マイナンバーカードの活用を想定した母子健康支援の成果事例（群馬県前橋市）を活用して、マイナンバーカードの公的個人認証機能を利用した母子健康情報ポータルを構築し、安心かつ利便性の高い母子健康・子育て環境を効率的に実現する。



くずまき見守り&スマートライフプラットフォーム推進事業

実施団体

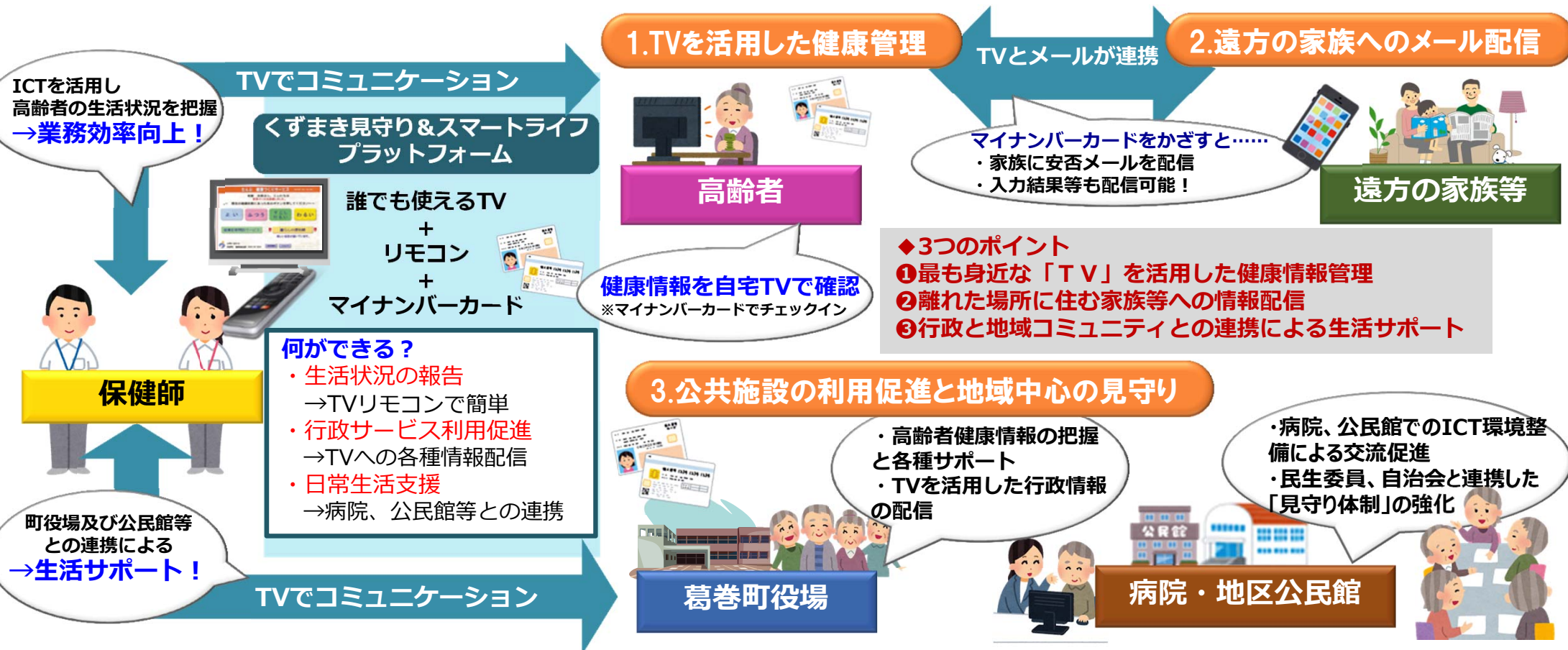
岩手県葛巻町

実施地域

岩手県葛巻町

事業概要

マイナンバーカードの活用を想定した高齢者の健康見守りの成果事例(鳥取県南部町)を活用して、テレビを活用した見守り、寄り添い、地域での健康管理・行政情報配信などを通じた、高齢者などの暮らしサポートを行うことで、遠方の家族・地域社会による高齢者見守り支援を実現する。

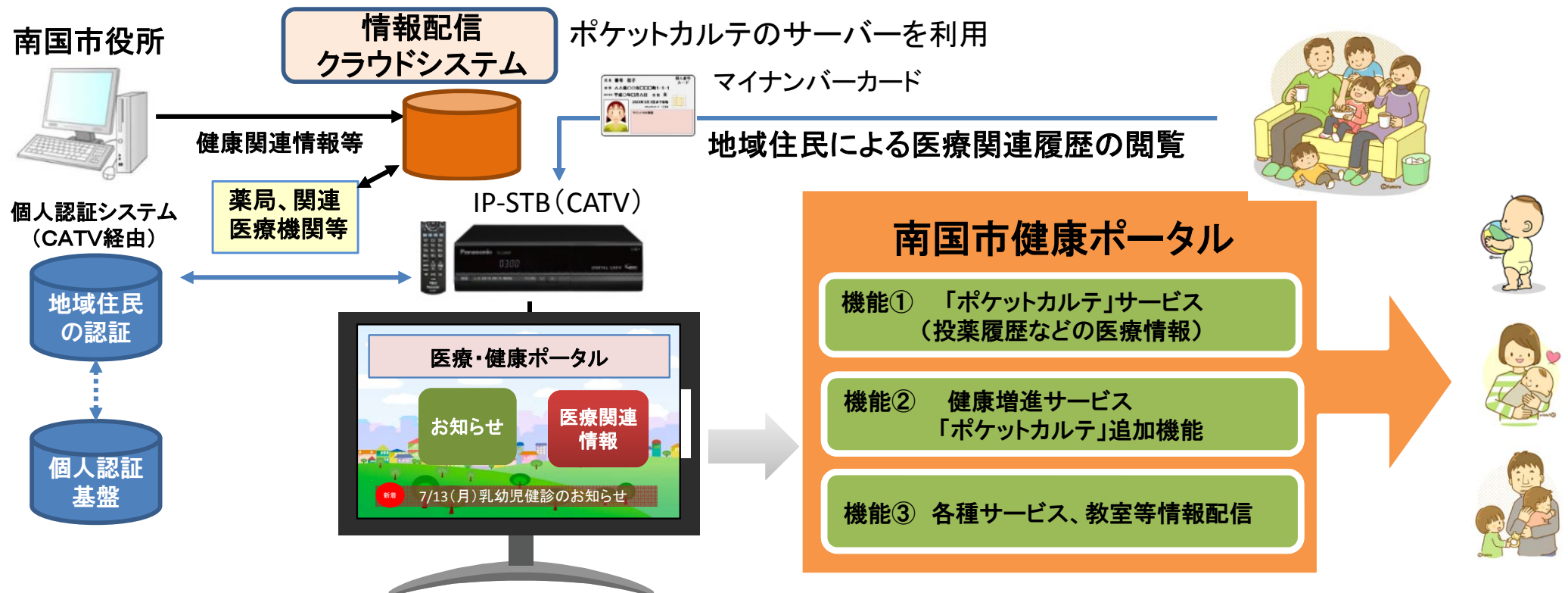


マイナンバーカードの活用による電子お薬手帳「南州市健康ポータル」

実施団体 高知県南州市

実施地域 高知県南州市

事業概要 ポケットカルテの成果事例(京都府京都市、地域情報化大賞2014総務大臣賞)を活用して、南海地震等による地域住民の医療関連情報の滅失を防ぐため、クラウドを利用して情報を蓄積し、併せて市からの健康関連情報の提供機能を整備することで、地域住民が各種医療・健康管理情報をテレビで提供・閲覧できるサービスを実現、地域の医療・防災に役立つ仕組みを構築する。



ICTを活用した住民参加による広域周遊促進事業

実施団体 秋田県由利本荘市

実施地域 秋田県由利本荘市

事業概要 観光クラウドの成功事例（青森県青森市、地域情報化大賞2014特別賞）を活用して、Myルートガイドを利用した広域ルート案内の支援、飲食店や生産者など住民参加による新鮮な情報発信の促進、着地でのスマートフォンを活用したきめ細かな情報支援等により、旅行者の線から面への誘導による観光消費の広がりを促進する。

観光サイトでの広域周遊ルート支援

由利本荘市観光サイト

秋田県観光サイト

多彩なモデル
ルートの提供



Myルートガイド

飲食店等からの
情報提供

ICTを活用した観光ルート企画ワークショップ



住民参加による
モデルルート提案

着地での情報支援態勢整備

地域モバイルでの情報支援

飲食店等からの
旬な情報やクーポン

着地での
ルートガイド



広域観光情報

生産者からの
情報提供

着地での地域モバイルの活用促進



道の駅
生産物の
QRコード



観光クラウド
地域の観光情報連携基盤

地域 モ
バイル
ご案内

公衆Wi-Fi
(18箇所)

公衆Wi-Fi接続時の
自動ウェルカムページ

観光案内施設での情報支援

観光案内施設や交流施設のスタッフに
よるPCを利用した周遊案内サポート
(プリントでもルート情報提供)



対面による
周遊ルート支援

飲食店や生産者からの情報発信
スマホによる手軽な情報発信ツールを提供



地域住民による情報発信力の底上げ

ICT活用による「隠岐海士のいわがき春香」高品質養殖マリンクラウド

実施団体 島根県海士町

実施地域 島根県海士町

事業概要 IT漁業の成果事例（北海道函館市、地域情報化大賞2015総務大臣賞）を活用して、ソーラー発電をもちいた水中センサー（水温・濁度・クロロフィル）によりリアルタイムでデータを収集・配信することで海洋環境が見える化し、牡蠣養殖に最適な成育海域を把握することで生産性を向上させるシステムを構築する。

【地域課題】

海士町は本土より70km離れた離島で1島1町の離島である。平成16年に739トンあった漁業生産額は毎年減少し、平成26年には354トンまで落ち込んだ。巻き網船が毎月海士町の漁獲量の百倍近い漁獲量を上げているため、この先も海士町が主体である沿岸漁業の再興は見込めない状況である。そのような中で、イワガキ養殖は順調に出荷数・売上を伸ばし平成14年に6万个出荷・売上1.5千万円から始まって平成27年には出荷33万个で売上1億円弱まで伸びてきた。今後もイワガキ養殖を軸とした漁業経営を進める方針であるが、イワガキの餌となる植物プランクトンが多い海域は、現在、養殖業者の目視による「感」を頼りに、養殖場所を選定したり、出荷時期を見計らったりしている。

【目的・目標】

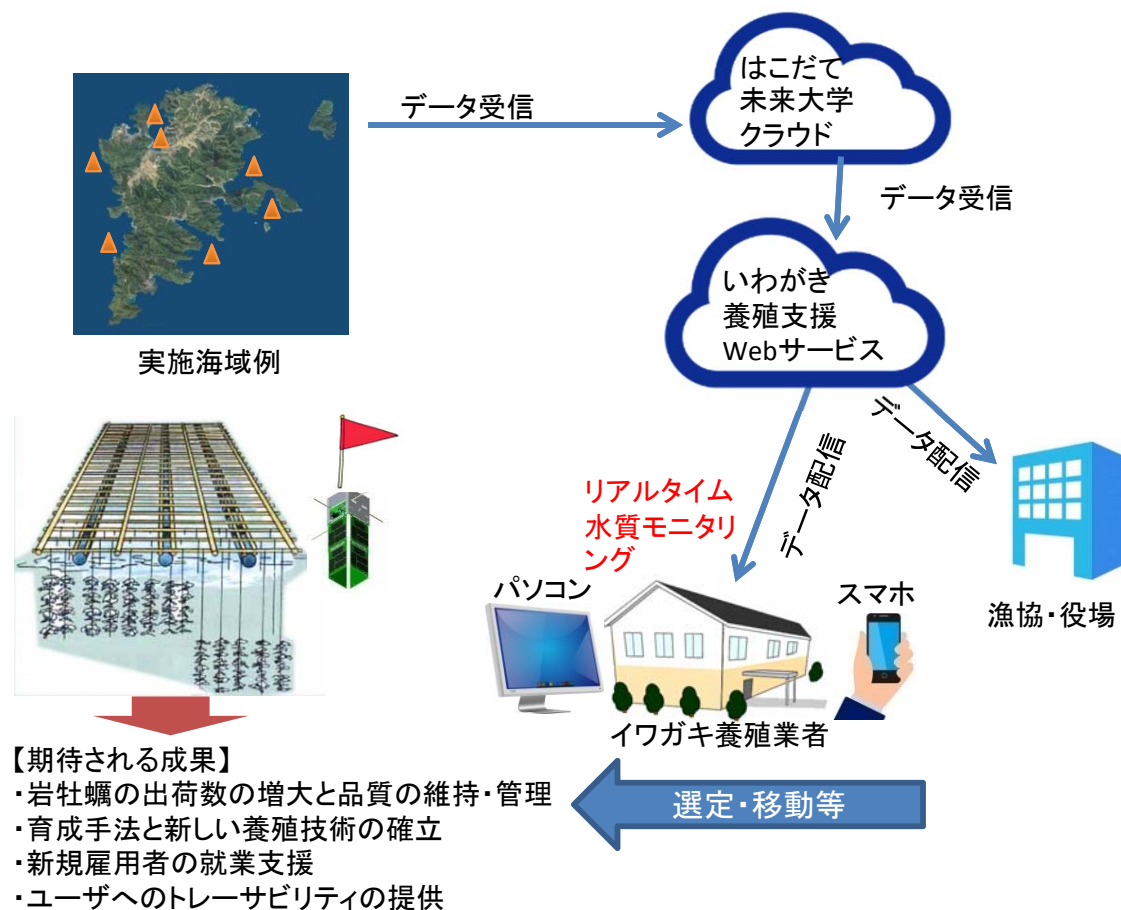
イワガキの出荷数増大

H27実績33万4千個 → H29目標35万個（5%増）

イワガキの餌となる植物プランクトンや水温は3年間養殖するイワガキの実入りに影響するため、こうしたデータがリアルタイムで数値化することができれば、より正確で迅速な養殖海域の選定・移動が可能となり、イワガキの実入りが安定し信用の貯蓄につながり売上が向上する。

【目的を実現するために実施する事業】

1. 海洋モニタリングシステムの構築
2. 牡蠣成育マッピングの開発
3. 養殖マリンクラウドの開発



長崎県沿岸域まち・ひと・しごと創生(防災安全)推進事業

実施団体

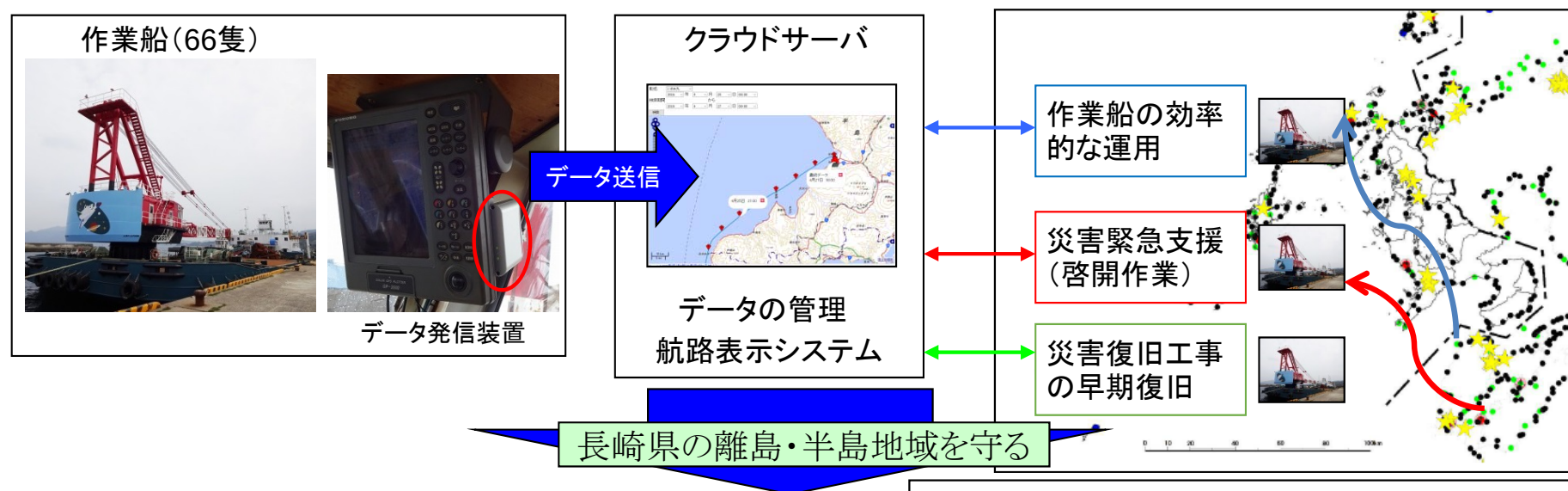
一般社団法人全日本漁港建設協会

実施地域

長崎県沿岸及び海域の全域

事業概要

長崎県の作業船の位置情報をクラウドシステムで管理することにより、特に離島・半島地域での災害時の救援物資輸送、応急・復旧工事の円滑な発注及び施工を可能とする。
また、平常時における港湾漁港工事においても設計・発注業務の効率化により、作業船の作業生産性を向上させることで、地域の産業の効率化や生産性向上に貢献する。



- ・ 長崎県内の港湾漁港建設業の所有する作業船、重機、資材の効率的運用
- ・ 作業船による災害時の緊急支援
- ・ 作業船の効率的運用による災害復旧工事の効率化

- ・ 漁村、水産業の災害への迅速、効率的な対策
 - 救援支援・啓開作業
 - 応急復旧
 - 災害復旧工事への着手
- ・ 自立的、継続的な災害対応システムの構築
- ・ 国境離島、国土の災害時の対策
 - 防災協定について、県と(一社)長崎県港湾漁港建設業協会の一締結、五市町村締結